

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

15. 産前、産後の疾患

文献

河上祥一, 西村純子, 榎木美智子, ほか. 乳汁分泌不足感に対する漢方療法. *産婦人科漢方研究のあゆみ* 2003; 20: 140-3. 医中誌 Web ID: 2004068785

1. 目的

乳汁分泌不足感に対する有効な漢方薬を評価する

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

実施施設の記載無し (著者らは愛育会福田病院産婦人科)

4. 参加者

2000年9月-2002年2月までに産後4-6日で乳汁分泌不足感を訴えた褥婦72名

5. 介入

Arm 1: ツムラ葛根湯 1回 2.5g 1日3回 内服

Arm 2: ツムラ十全大補湯 1回 2.5g 1日3回 内服

Arm 3: カネボウキュウ帰調血飲 1回 2.5g 1日3回 内服

Arm 4: ツムラ葛根湯とツムラ十全大補湯を併用してそれぞれ1回 2.5g 1日3回内服

Arm 5: ツムラ葛根湯とカネボウキュウ帰調血飲を併用してそれぞれ1回 2.5g 1日3回内服

Arm 6: ツムラ桔梗湯 1回 2.5g 1日3回 内服

Arm 7: 乳房マッサージ

6. 主なアウトカム評価項目

アンケート調査による評価

母乳量、乳緊度、ミルク補充、満足度をそれぞれ10段階評価し、その合計点で評価

7. 主な結果

十全大補湯単独投与群は、投与3週間後でキュウ帰調血飲単独投与群、葛根湯合十全大補湯群、桔梗湯群に比べて有意に高得点であった。しかし、乳房マッサージ群との有意差は無かった。

8. 結論

十全大補湯が乳汁分泌不足感に対して有効である。

9. 漢方的考察

随証療法による投与が望ましい。

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

本論文は、漢方の方剤が産褥期の乳汁分泌に対してそれぞれ異なった作用があり、「随証治療」が大切であることを示した点で価値がある。しかしながら、本論文の主旨である乳汁分泌不足を補うという意味に於いて十全大補湯群は、乳房マッサージ群との間に有意差を認められておらず、乳汁分泌を補うという事を今回のデータでは充分証明できたとはいえないと思われる。乳房マッサージとの併用など、さらなる研究成果を期待したい。

12. Abstractor and date

中田英之 2008.4.1, 2010.6.1